

■一般目標（GIO）

歯科衛生士として、看護概念を理解し基本的な看護技術や知識を修得すると共に看護実務について理解する。

■到達目標（SBOs）

- ・看護の定義、健康の概念、看護の対象と基本的役割を説明できる。
- ・コミュニケーションの構成要素と基本的方法が説明できる。
- ・バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸、血圧）の目的、方法が説明できる。
- ・バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定ができる。
- ・感染予防の目的、方法、注意点が説明できる。
- ・消毒滅菌の定義、滅菌法の種類と特徴を説明できる。
- ・人間にとっての「食事」「排泄」の意義が説明できる。
- ・安全・安楽を確保する必要性が説明できる。
- ・与薬、気管内吸引、酸素吸入の目的、方法、留意点が述べられる。
- ・急変時の初期対応の流れが述べられる。
- ・感染予防の意義を理解し、標準予防対策、個人防護具の着脱方法を説明できる。
- ・医療安全確保の必要性が述べられる。

■教科書：歯科衛生士のための看護学大意 第4版（医歯薬出版）

■参考書：必要に応じてプリント配布

■授業時間：水曜日 11:00～11:50／12:00～12:50

■オフィスアワー：

■授業の方法：教科書の内容を中心に、プロジェクタを利用し講義形式で進める。バイタルサイン測定、車椅子、個人防護用具の着脱の演習を実施する。

■成績評価方法：定期試験（100%）を基本とする。

■注意事項：教科書を持参すること。

■実務経験：大橋初枝：現在、日本大学医学部附属看護専門学校に在籍しており、臨床看護（手術室、脳外科）の経験を基に看護師の立場から基本的な看護技術・知識について、本教科で学ぶ内容がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

平野裕子：現在、日本大学医学部附属看護専門学校に在籍しており、臨床看護（血液内科、循環器内科）の経験を基に看護師の立場から基本的な看護技術・知識について、本教科で学ぶ内容がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第1, 2回 4月16日 大橋初枝	1) 看護の概念 (1) 看護の歴史 (2) 看護とは 2) 多職種連携 (1) チーム医療 (2) 多職種協働と多職種連携 (3) 医療チームの中の 歯科衛生士 (教) p. 1-23, 103	・近代と現代の看護について学ぶ。 ・看護の定義, 健康の概念を理解する。 ・看護の対象, 目的, 基本的役割や実際の看護活動の流れを学ぶ。 ・医療チームの一員として, 関係職種の役割や連携のために必要なさまざまな事項を理解する。
第3, 4回 4月23日 平野裕子	3) 患者とのコミュニケーション (1) コミュニケーションの構成要素 (2) 接近的行動と非接近的行動 (3) 情報収集の技術 4) 患者への支援 (1) 小児への接し方 (2) 高齢者への接し方 (3) 妊婦への接し方 (4) コミュニケーションに障害がある人への接し方 (教) p. 43-48	・コミュニケーションの意義や目的を理解し, 効果的なコミュニケーションのための技術を学ぶ。 ・患者の特性に応じた適切な対応の方法を学ぶ。 ・接近的行動と非接近的行動を理解し, コミュニケーションにおける自己の在り方を考える。
第4, 5回 4月30日 平野裕子 大橋初枝	5) バイタルサイン (1) バイタルサインの基礎知識 (2) バイタルサインを観察する意義 (3) バイタルサインの測定方法 (教) p. 24-42	・体温, 脈拍, 呼吸, 血圧の機能の正常と異常を学ぶ。 ・バイタルサイン測定の方法を実際に体験し, 手技を修得する。
第7, 8回 5月7日 平野裕子	5) バイタルサイン (4) 情報収集と健康状態の把握 (教) p. 24-42 6) 栄養と食事 (1) 食べることの意義 (2) 栄養状態の把握	・対象の健康状態を把握し, 評価する必要性を学ぶ ・生命維持に必要な栄養補給の「食べる」行動だけでなく「楽しく食べる」ことの重要性を考える。 ・排泄の意義を理解し, 人間に

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
	(3) 摂食・嚥下能力の把握 (4) 摂食・嚥下障害がある人への援助 (5) 排泄の意義 (教) p. 54-57	とっての健康と排泄について学ぶ。
第 9, 10 回 5 月 14 日 平野裕子	7) 患者の安全と安楽 (1) 安楽への援助 (2) 褥法 (3) 体位変換 (4) 移乗・移送 (車椅子) (5) 歩行の援助 (教) p. 49-54, 60-62	・安楽な体位の工夫, 体位交換, 安楽を図るための看護用品・用途について学ぶ。 ・安全な車椅子への移乗・移送方法を学ぶ。
第 11, 12 回 5 月 21 日 平野裕子	8) その他の看護技術 (1) 与薬 (2) 吸引および吸入 9) 歯科衛生士に必要な看護実務 (1) 救急時の看護 (教) p. 58-60, 62-64 80-83	・与薬の目的, 種類, 方法, 留意点について学ぶ。 ・気管内吸引, 酸素吸入の目的, 方法, 留意点を学ぶ。 ・救急対応の考え方, 急変時における初期対応の流れを学ぶ。
第 13, 14 回 5 月 28 日 平野裕子	(2) 感染対策 ①標準予防策 ②手指衛生 ③个人防护具 (3) 洗浄・消毒・滅菌 (4) 医療安全対策 ①医療安全管理 ②誤飲・誤嚥防止 ③転倒・転落防止 ④針刺し事故防止 (教) p. 83-98	・標準予防対策, 个人防护具の着脱方法を習得できる。 ・基本的な洗浄・消毒・滅菌を理解し正しい取扱いを学ぶ。 ・医療安全確保の必要性と歯科衛生士の役割を認識する。